

令和2年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議

開催日時	令和2年10月15日（木） 14時
閉会日時	令和2年10月15日（木） 15時30分
会議場所	阪南市防災コミュニティセンター 多目的室
出席委員	委員長 森本 典子（阪南市子ども文庫連絡会）
	副委員長 山本 朋美（生涯学習部学校教育課）
	委員 後藤田 郁子（市民公募）
	委員 東堂 美幸（子どもNPOはらっぱ）
	委員 谷本 美由貴（阪南市みんなの図書館を考える会）
	委員 福井 貴子（泉鳥取高等学校）
	委員 下林 奈央（鳥取中学校）
	委員 山本 千恵（尾崎幼稚園）
	委員 隅田 恭子（尾崎保育所）
	委員 佐藤 萌香（阪南市社会福祉協議会）
	委員 若野 美幸（こども未来部こども家庭課）
	委員 秋山 秀子（生涯学習部生涯学習推進室）
	委員 加藤 靖子（生涯学習部図書館）
欠席委員	委員 頭師 康一郎（市民公募）
	委員 大塚 尚子（はんなん子育てネットワーク）
	委員 杉山 志穂（西鳥取小学校）
	委員 金子 佳代（子育て総合支援センター）
	委員 藪内 かおり（健康部健康増進課）
事務局出席者	図書館主幹 森下 喜代子
	図書館総括主事 籠谷 早織

令和2年度第1回阪南市子ども読書活動推進会議 会議録

事務局	通常第1回会議は6月に開催していたが、新型コロナウイルスが猛威を振るい開催ができず、本日の開催となった。
会長	新委員の方もおられるので、自己紹介とともに前年度の活動報告を各委員からお願いしたい。
案件1	前年度の活動報告 (自己紹介)
委員	子どもNPOはらっぱでは、子育て支援センターにて「つどいの広場」を開設し、たくさんの絵本を置いて、自由に読んでもらえる機会を設けている。また、読み聞かせも行っている。子どもセンター(ふれあいホーム)では、「つどいの広場」を開設していない水曜日に、絵本を置いたり、2か月に1回親子が参加できる誕生日会を実施している。年間を通じて数回、劇団による舞台鑑賞の機会も設けている。
委員	社会福祉協議会では、阪南市内にまちなかカフェ・サロンを展開し、昨年度は40か所で活動を実施している。高齢者だけでなく、子育て世代等も参加することができる。まちライブラリーでは、本の無料貸し出しの取り組みも行っている。すすく塾、地域の文庫活動を行っている方と一緒に進めている事業もある。機関紙「ふくしはんなん」にて「毎月23日は家庭読書の日」の情報提供をしている。
委員	阪南市みんなの図書館を考える会では、読書環境を整える活動をしている。研修のために大阪府子ども連絡会の公開講座の参加や「この指とまれ」「あしたの図書館」の活動にも参加している。学校教育課と交流を持ち、学校司書と学校をつなげる活動も行っている。独自では新しいことはできていない。私自身、つくし文庫に入っており、団体や地域の方とも交流を行っている。地域の保育所で月1回、紙芝居や絵本の読み聞かせを実施している。
委員	高校では、外部の方を招いて、ビブリオバトルを毎年行っている。和歌山大学の教育ボランティアや府立大学の臨床心理師実習生に、生徒指導や進路指導を行ってもらっているが、図書館活動にも協力してもらっている。去年は、生徒が大阪市主催の書評漫才に参加した。残念ながら賞は逃したが良い経験になった。
委員	中学校では、図書館と司書が連携し、中学生に本を手にとってもらうため、校長や数学の先生等が本を紹介する企画を行っている。鳥取中学校では、尾崎中学校と統合したため、図書室の蔵書が1万冊になった。本の整理は、司書中心にすすめているところである。
委員	幼稚園では、各園の実情に合わせて、絵本環境を見直している。絵本の時間を大切に、取り組んでいる。年に2・3回、阪南市おはなしの会による、絵本の読み聞かせを行った。年間計画の中で、園外保育の一つとして図書館見学を実施している。図書館では、利用方法や本の借り方等を教わった。図書館で借りたことによって、親子で図書館に行く機会が増えたとの声もある。保護者向けの絵本コーナーの充実によって、読み聞かせの大切さの啓発をすすめてきた。未就園児に対しても絵本の魅力等を伝えている。
委員	保育所では、図書館の団体貸出を利用し、季節や年齢に合った絵本や紙芝居を借りている。その本を活用し、各所で読み聞かせを実施している。昨年度は、5歳児の図書館見学を実施し、地域の子ども文庫や市民ボランティアによる絵本の読み聞かせにも参加した。空き部屋を活用して絵本を設置し、子どもたちが絵本に接する機会を増やしている。各所の園庭開放で、参加している子どもの年齢に合った絵本の読み聞かせや、親子で楽しめるような絵本コーナーを設けている。
委員	今年から委員になったが、こども家庭課では、私立の保育施設を所管している。民間認定こども園が4園あり、絵本の読み聞かせや園によって、絵本コーナー設置を行っている。ミニミニ図書館で貸出を定期的に行っている園もある。どの園も啓発活動をしている。

委員	生涯学習推進室では、留守家庭児童会の担当をしている。留守家庭児童会は、市内各小学校8か所にある。毎月のホームだよりにて「毎月23日は家庭読書の日」をPRしている。自動車文庫での貸出利用、絵本や紙芝居の読み聞かせまたは、音読を行っている。子どもが身近に絵本と接する環境づくりとして、各留守家庭児童会にある本棚からいつでも自由に読めるよう本の整理を行っている。図書館のリサイクル本の活用や、管理費で購入した本を置くようにしている。昼食、おやつ後に本読みの時間を設けている。
会長	本日、小学校代表の委員が欠席のため、学校教育課より報告をお願いする。
委員	今年から委員になった。小中学校では、朝の活動で本に親しむ機会を確保している。読書週間のイベントとして、図書委員による絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。学期ごとに教師によるお話劇場や校長先生による全クラスへの読み聞かせなど、各小学校で工夫した取り組みを行っている。毎月の図書だよりの中に「家読」コーナーを設け、親にも啓発している。各校の取り組みとして、PTA講演会で保護者に読書活動の啓発をテーマとした講演会やビブリオバトルの開催、絵の本ひろばを実施した。全校に学校司書が配置されており、研修を年10回開催した。
会長	阪南市子ども文庫連絡会では、家庭・地域文庫の数が、一次計画時の7文庫から現在4文庫となり、減少傾向である。長年、作家を招いた講演会を開催していたが、会員減少により現在は実施できていない。昨年度は、図書館主催の長谷川義史さんの講演会に協力し、著作本の販売を行った。どんぐり文庫が文科省子どもの読書活動優秀実践団体に選ばれ、表彰された。ここは、福祉委員の協力を得、地域に根ざした活動を続けている。
委員	図書館では昨年度、大阪府新子育て交付金を利用し、開館30周年行事を実施した。文化センター大ホールでの人形劇「11ぴきのねこ」の上演は760人満員となった。その他、長谷川義史さんの講演会や絵の本ひろばを実施した。絵の本ひろばは、幼小の協力を得て、2園3小学校で実施し、職員・ボランティアで絵本の楽しさを伝えた。飯の峯中学校はコロナ禍により未実施である。また、昨年度は市内少年院に対して読書に関する取り組みを実施できた。貝掛地区に和泉学園という矯正施設があり、第一次計画から関係構築をめざしていたが、ようやく関りが持てた。少年法の改正で、地域とつながっていく方針になったそうだ。府立図書館からの団体貸出を、本市を通じて実施する。園生の制作した木工のブックエンドや本の紹介(ポップ)の寄贈を受けた。
委員	子ども読書活動には携わってはいないが、市民の立場で意見を言っていきたい。
会長	本日欠席の委員からいただいている活動報告の代読を事務局をお願いする。
事務局	(はんなん子育てネットワーク代読)6サークルあり、ネットワークしている。地域に絵本の読み聞かせ等の啓発活動を行っている。 (子育て総合支援センター代読)絵本に興味や楽しみを持てるように年齢に合った絵本や紙芝居の紹介を行った。月1回、地域ボランティア団体の協力で読み聞かせを実施している。毎月1回の子育て講座の中で、昨年度は「親子で楽しむ絵本コンサート」や絵本講座を開催した。図書館の団体貸し出しを利用し、大型絵本や紙芝居を活用した読み聞かせを行った。2か月に1回発行の「おやこであそぼカレンダー」にて「家庭読書の日」を紹介した。
案件2	今年度の計画
会長	次に今年度のコロナの状況で制約のある中、計画があれば報告をお願いしたい。
委員	図書館では、「絵の本ひろば」の実施を予定していたが、大阪府新子育て交付金の内示がまだ来ておらず、事業実施ができずにいる。「絵の本ひろば」では、子どもが集まると感染予防の確保が難しい。通常業務では、土曜日のおはなし会は再開した。場所を変え、間隔をとって行っている。おひざにだっこのおはなし会は再開を見送っている。絵本ヒーローショーを予定していたが、今年度は実施を見送る。11月3日の読みメンおはなし会は、実施予定である。コロナ禍の中、事業一つとっても、どこまでならいいのか、どこからが駄目なのかの見極めが難しい。できる範囲で子ども読書活動を行っていきたい。

委員	高校では、英語ができる生徒がいて、ビブリオバトルを英語でしようと計画している。また、有志を募り、お昼の時間に朗読の放送を実施しようと考えている。
委員	幼稚園では、図書館見学を年間計画に入れているが、公共の場に出ていくのが不安である。運動会が終わって、見学の再開を検討しているところである。学年1クラスずつといった少人数でも、図書館は受入れ可能か。
委員	密を避けるために紙芝居コーナーの広い場所で行うなどの工夫をし、対応する。11月3日の絵の本ひろばは、サラダホール前の屋外での実施を考えている。雨の場合は、展示室で実施する。雨の日は来館者も少ないため、屋内でも密にはならないと予想している。
委員	はらっぱでは、年間を通じて舞台鑑賞をしている。公演が延期となったものもあり、それほど大きな劇団ではないので、仕事がなくなっているとき。舞台観賞は6月まではできなかったが、7月から再開した。地域交流館では客席の間隔を開けるのが厳しく、大ホールで開催した。人数制限はあるが、劇団もがんばっているの、予定どおり行いたいと思っている。
委員	前年度の取組み報告を見て感じたことを言わせてもらう。取組について「実施できた」と書いているが、できなかったことを書いた方が、課題が見えてくると思う。また、コロナ禍の中で実施が難しいという「絵の本ひろば」については、人数制限を設けて、2部制にするか、日を分けるかできないか。中止になった飯の峯中学校は、今後できないのか。「絵の本ひろば」は、どうしているのか。
会長	「えほんのひろば」は、「絵の本ひろば」になるのか。
委員	今年度から「絵の本ひろば」という名称にしている。「絵の本ひろば」は、400冊くらいの絵本を自由に見るものである。絵本という子ども向きとられるので、「絵の本ひろば」と名称を提唱者が変えられた。大人向きの写真集、料理本などビジュアルな本も含まれている。幼児から中学生まで同じ本を用いて行う。人数制限を設けたり、日を分けたりすれば実施は可能と思われるが、今年度は、コロナのため学校も休業期間があったので、「絵の本ひろば」に時間をさくのは難しくなっている。図書館主催での11月3日「絵の本ひろば」は10時から4時までと時間を長くし、屋外で実施することで、三密を避けた感染防止対策としている。平成30年度の飯の峯中学校での実施については、後ほど下林委員からご紹介いただきたい。
委員	学校図書館司書の入れ替わりがあり、初めての方もいる。同じような読書環境の保証のために、スタンダードをつくることにしている。整理、レファレンス、オリエンテーションの仕方について作成した。学校図書館司書は、東鳥取小、桃の木台小に各1名ずつ配置し、それ以外の小・中学校を1名で2校兼務で配置している。そのため、1校につき、週3日、週2日勤務となり、司書がない日がある。図書委員に協力してもらっている。
会長	1校1名専任の司書がいてほしいと思う。 中学校での「絵の本ひろば」について、下林委員にもう少し説明をお願いします。
委員	中学校で絵の本ひろばを初めて実施したときに勤務していた。図書館で面展台の組み立て方を教えてもらい、1階廊下の多目的スペースに展示した。1年を対象に行ったが、それ以外に、懇談会に来ている保護者にも本を読んでもらっていた。今年、夏休みが10日しかなく、読書感想文コンクールに出展もできていない。教室前に消毒液を置いている。そのそばに絵本を置いているところもある。本をきっかけに人のつながりができる。
会長	本の帯コンクールが阪南市で盛んなようだが、今年はどうか。
委員	各校での取り組みであり、応募したかどうか不明である。
会長	本の帯を書こうと思えば本を読まなければいけないので、楽しい企画だと思う。
委員	どんぐり文庫に携わるボランティアが三代で通っている。30年以上地域で大切にされている読書の居場所なのに、今の子はゲームばかりで読書をする機会が減っている。参加者も少なくなっている。校区の全児童にチラシを配っているが、関心を持ってくれない。活動を周知することが課題である。どんぐり文庫の認知度を上げるために、ほかの場所でもチラシを配ることはできないか。大切な居場所なので、地域の校区福祉委員がバックアップしてくれている。チラシ以外によい方法がないかと思っている。

- 会長 学校同士、社協との連携、先生方に頼むなどもう一歩が必要である。
- 委員 つくし文庫の活動は、月1回に減った。地域の小学校、保育所、幼稚園にチラシを配っていた。参加人数が少ない。校区に子どもがいるはずなのに来てくれない。そんな中、子どもが文庫に行きたいというので、土曜日に保育所に通わせるのをやめた人もいる。つくし文庫に1人でも来てくれる子どものために活動を行っている。多くの人に来てもらいたい。
- 会長 家庭環境は大事だと思う。幼稚園・保育所が取り組んでいるのではないか。
- 委員 保育所は、紙芝居・絵本の読み聞かせを保護者が行ったり、図書館見学を実施している。
- 会長 子どもに楽しさを伝えることが大事だと思う。本というものは、最初から最後まで読まないといけないと思っている。途中でやめてもいい。図鑑、地図、時刻表でもよい。読むことの楽しさを味わってほしい。現場の方は大変だと思う。
- 事務局 これからも委員の皆様と一緒に子どもたちの読書活動を推進していきたい。第2回子ども読書活動推進会議は2月を予定している。
- 会長 以上をもって終了する。